

○株式の状況（2023年9月30日現在）

発行可能株式総数	250,000,000株
発行済株式の総数	116,376,837株
株主数	7,486名

大株主（上位10名）

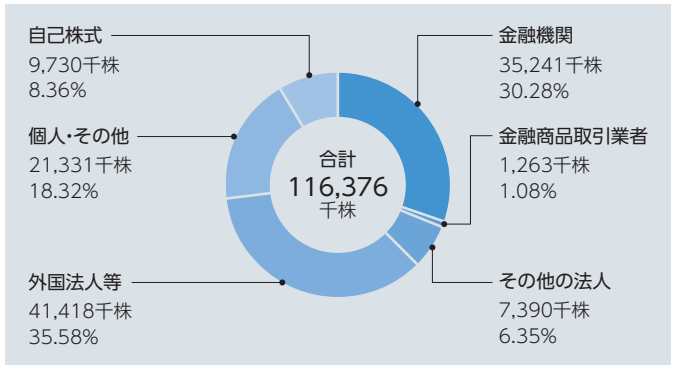
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	13,485	12.64
かみぐみ共栄会	7,407	6.94
(株)日本カストディ銀行(信託口)	6,945	6.51
上組社員持株会	3,396	3.18
全国共済農業協同組合連合会	2,772	2.59
(一財)村尾育英会	2,456	2.30
日本生命保険(相)	2,271	2.13
住友生命保険(相)	2,250	2.11
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,101	1.97
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	2,021	1.89

※1 自己株式9,730千株は、上記大株主から除いています。

※2 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

※3 持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

○所有者別株式分布状況（2023年9月30日現在）



※株式数は千株未満を、比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

○会社の概況（2023年9月30日現在）

商号	株式会社 上組(Kamigumi Co.,Ltd.)
創業	1867(慶応3)年(設立：1947年2月28日)
資本金	31,642,266,011円
従業員	3,725名(連結：4,266名)
本店	神戸市中央区浜辺通四丁目1番11号
主要な事業内容	物流事業 港湾運送、倉庫、国内運送、工場荷役請負、国際運送、物流その他 その他事業 重量・建設、その他

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 中間 9月30日 期末 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
公告方法	電子公告 当社ウェブサイト(https://www.kamigumi.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
(ご注意)	1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

○役員（2023年9月30日現在）

取締役

代表取締役社長	深井 義博
代表取締役	田原 典人
代表取締役	堀内 敏弘
代表取締役	村上 克己
取締役	平松 宏一
取締役(社外)	石橋 伸子
取締役(社外)	保坂 収
取締役(社外)	松村 はるみ

監査役

常任監査役(常勤)	佐伯 邦治
監査役(社外)	中尾 巧
監査役(社外)	黒田 愛
監査役(社外)	秀島 友和

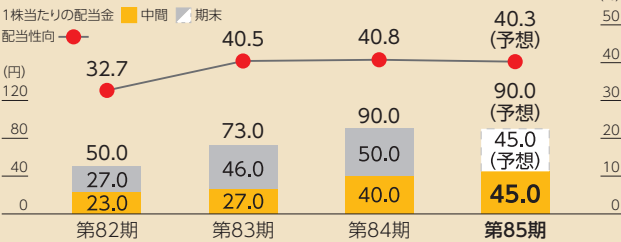
株主様への還元方針

当社は、最適な資本構成を勘案しつつ、持続的な企業価値の向上を目指し、成長投資などのための内部留保を確保したうえで、安定的な利益還元を継続することを基本方針としております。

利益還元については連結配当性向を基準とした配当を基礎とし、自己株式の取得についても適宜、実施してまいります。

なお、2025年3月期を最終年度とする現行中期経営計画期間中は、連結配当性向40%、総還元性向90%を目安に利益還元を実施いたします。

配当金と連結配当性向の推移



KAMIGUMI REPORT

世界の物流をデザインする。

第85期
中間報告書2023年4月1日▶
2023年9月30日中期経営計画の目標達成に向け、
海外事業の強化に取り組みました。

株主の皆様には、格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第85期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の事業の状況をご報告申し上げます。

物流業界は、輸出貨物の取扱いに持直しの動きがみられるものの、人手不足や燃料費が高騰するなど厳しい経営環境が継続しています。

このような状況下で当社グループは、中期経営計画の目標達成に向け、インドネシアのパティンバン国際港における自動車ターミナル運営会社に出資するなど、物流インフラを支える企業としてサービスの提供を行ってまいりました。

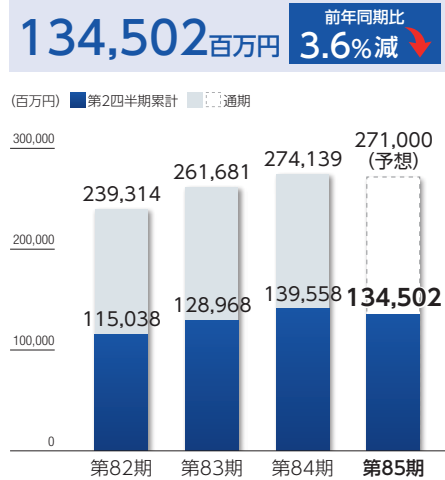
この結果、バイオマス発電所向け燃料輸送が本格稼働し収益に寄与したものの、前期におけるスポット海上輸送案件の減少を補うには至らず、当第2四半期連結累計期間における営業収益、営業利益、経常利益はともに前年同期を下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上により前年同期を上回りました。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

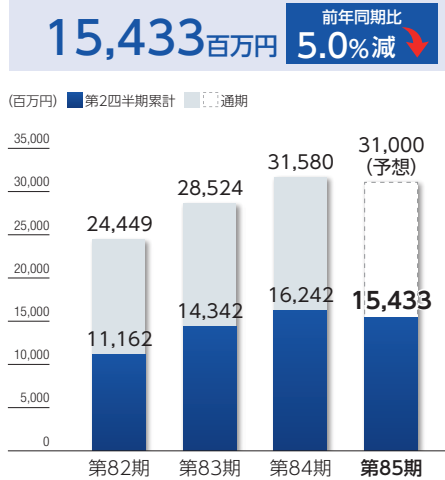
深井義博

営業収益



※第83期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、第82期に係る各数値については当該会計基準等を選って適用した後の数値となっています。

営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

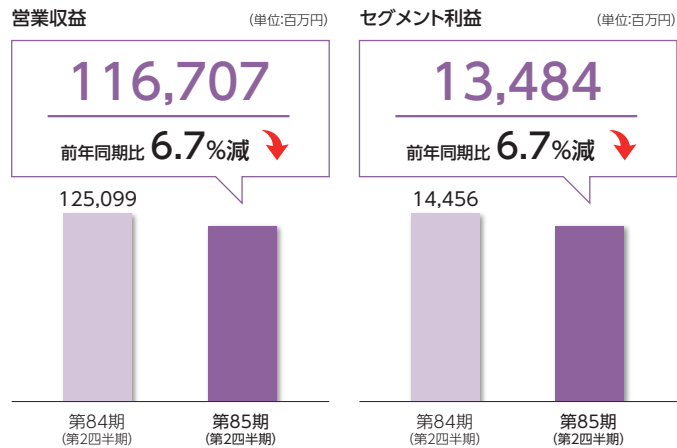


株式会社上組

物流事業

構成比
86.0%

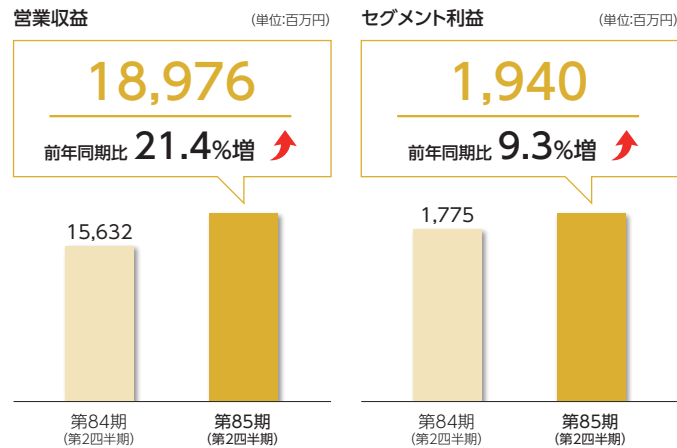
- バイオマス発電所向け燃料輸送が本格稼働
- 海上運賃の下落および発電設備等のプロジェクト貨物の取扱いが減少



その他事業

構成比
14.0%

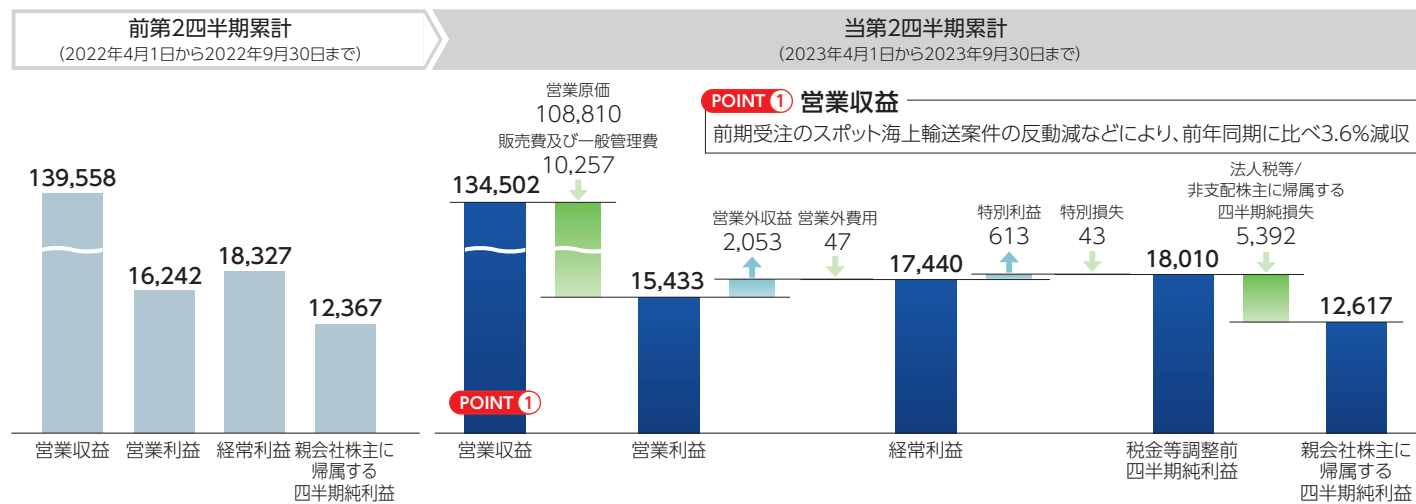
- 風力発電設備等の運搬据付作業が増加
- 新車整備の取扱量が増加
- 燃料および鋼材の物品販売が増加



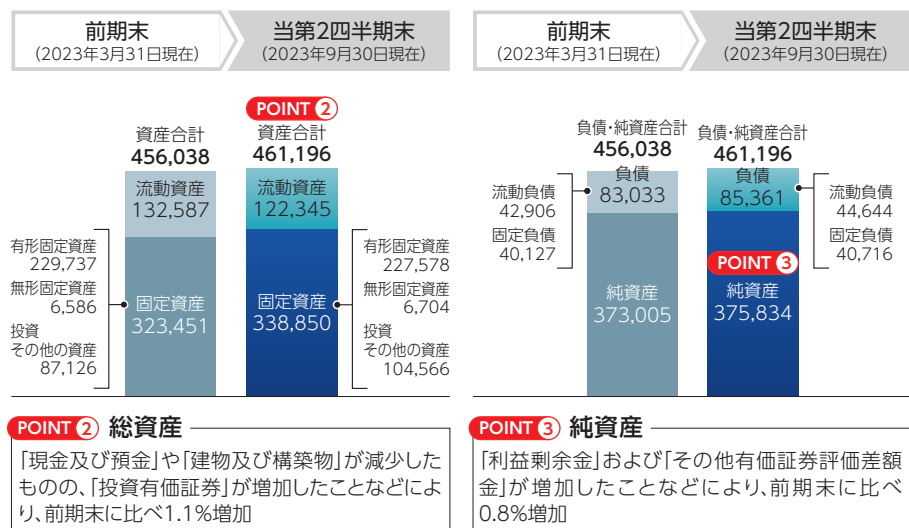
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

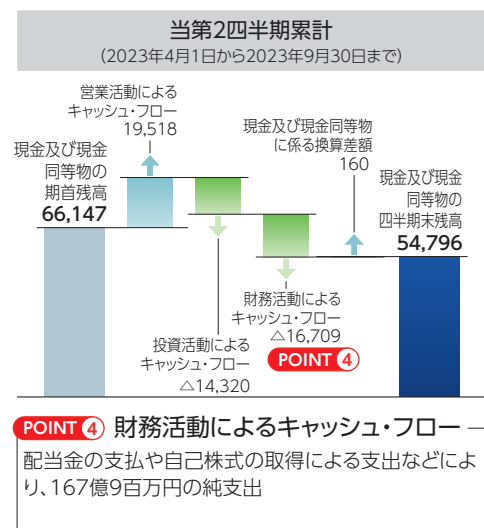
四半期連結損益計算書の要旨 (単位:百万円)



四半期連結貸借対照表の要旨 (単位:百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (単位:百万円)



特集 上組のサステナビリティ



経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

当社は、中期経営計画の重点戦略を推進すべく、経済産業省が定めるDX認定制度に基づく「DX認定事業者」の認定を2023年9月1日付で取得しました。DX認定制度は「デジタルによってビジネスを変革する準備ができている状態」になっている事業者を認定する制度です。

2023年4月には「DX推進室」を新設し、港湾物流をはじめサプライチェーンマネジメントや内航海運などの各分野におけるDXに取り組んでいます。今回の認定取得を機にさらにデジタル化を加速させ、国際競争力の強化やIT人材の育成、ひいては持続的成長に向けた基盤確立を目指してまいります。



▲「DX推進室」のスタッフ

神戸市開催（共催：日本財団）の小学生向け海のお仕事体験プログラムへ参画

日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で、海洋人材育成に取り組む神戸市とアクトインディ(株)の連携で実施された、神戸の海をテーマにした小学生向け海のお仕事体験プログラム「こどもわーくin神戸2023」に参画し、当社施設にて「人々の暮らしを支える港のお仕事をしよう!」を開催しました。

本プログラムでは、日本の貿易量の99.6%を占める海上輸送の玄関口である『港』の重要性を身近に感じてもらうため、日本最大規模のコールドチェーンを実現した「上組神戸ポートアイランド総合物流センター」において青果物の輸入から出荷までの流れを説明したのち、本船荷役作業の見学と品質管理業務を体験していただきました。

当社はこのような機会を通じて、次世代の育成に貢献してまいります。



▲本船荷役作業の見学



▲お仕事体験後の集合写真

Topics

インドネシアから長崎へ、SEP船の海上輸送業務を実施

当社はこのたび、半潜水式重量物運搬船(※)を傭船し、SEP船(自己昇降式作業台船)の海上輸送業務を五洋建設(株)より受注しました。インドネシア・バタム港にてSEP船の上架・固縛作業後、長崎港までの海上輸送を行い、解縛・下架作業を経て艀装工事を行う三菱重工業(株)長崎造船所までの輸送業務を完遂しました。

SEP船は1,600トン吊り全旋回式クレーンを搭載し、2023年11月より北九州響灘洋上ウインドファーム建設工事で稼働します。

今回の輸送業務は中期経営計画で掲げる“新エネルギー関連物流への注力”の一端を担っており、今後さらに需要拡大が見込めるこれら分野において、当社はこれまでに培った知見・経験を活かし積極的に取り組んでまいります。

※船体を海中に沈め船などを持ち上げて運ぶことができる特殊な運搬船



▲船体を海中に沈めた運搬船



▲SEP船の積み込みが完了した運搬船